

富里市犯罪のないまちづくり推進協議会(第2回)会議録

日 時	平成27年11月17日(火) 10:30～12:00
場 所	富里中央公民館2階研修室
出席者 (委員)	津村信夫氏, 林田純江氏, 沖田健二氏, 川嶋美津江氏, 高澤忠彦氏, 中山信司氏, 近成氏, 松井秀明氏, 河野昌子氏, 長徳實義氏, 宮川朱実氏, 柳橋啓子氏
欠席者	伊藤宣一氏, 小幡健二郎氏, 高木利子氏,
傍聴人数	2名
事務局	粕谷市民活動推進課長, 竹本主査, 武井, 松戸

〔会議次第〕

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 傍聴要領について
 - (2) 青色防犯パトロール車について
 - (3) 富里市内の犯罪発生状況等について
- 4 その他
- 5 閉会

〔会議概要〕

議長	<p>次第3 議題</p> <p>(1) 傍聴要領について</p> <p>事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>資料1をもとに富里市犯罪のないまちづくり推進協議会傍聴要領(案)の修正箇所を説明。</p> <p>(議長が意見を求める)</p> <p>(特になし)</p>
議長	<p>事務局から説明のあった通り資料1を富里市犯罪のないまちづくり推進協議会傍聴要領とします。</p>

議長	(2) 青色防犯パトロール車について 事務局の説明を求めます。
事務局	資料2, 3, 4により説明。
A委員	資料4の第7条賠償責任のところですが、パトロール車として登録した私有車が万が一事故に遭った場合、現在は特に補償がない状態です。そのため、行政には万が一の場合に備えて研究をしてもらい、何らかの補償ができないか検討してもらいたいと思います。
議長	併せて質問で、市の青パト車の増車計画はありますか。 また、この要綱は私有車の青パトの活動を勧めているものなのですか。 青パト車により防犯活動を始めた団体に対して、保険も含め何か市から補助を出す考えがありますか。 また、現在の青パトの現状について教えてください。
A委員	私有車による青パト活動の支援の仕方の一つとしては、保険料を一定限度枠の中で補助するようなこと、つまり、保険料補助も十分検討する余地があるのではないのでしょうか。
事務局	保険について今後研究させていただきますが、市民活動の総合補償保険に加入するときに、今の保険の仕組みでは、どうしても車の保険として確立しているため、車両による事故の場合、車両に対して入っている保険が適用されるべきとして、市民活動の総合補償保険においては対象外となってしまいます。自主活動に対して市が何らかの支援ができないかにおいては、今後検討させていただきたいと思います。
議長	増車計画はいかがですか。
事務局	担当としては車両を増やしたいと思っておりますが、今現在市にある

	<p>3台の車両の中で、皆様に有効活用していただき、活動の中で十分に足りない部分に関しましては、恐縮ですがご自身の車両に装着するという事もできますので、要綱の中にも載せさせていただきましたが、まずは青色回転灯を市の車両以外に保有していただきたいとするものです。また、足りないところに関しては、担当の者からお話しします。</p>
事務局	<p>市では毎年各市町村において抽選で寄贈される「夢まる号」については、今年は外れてしまいました。今後も継続して手を挙げていきます。</p>
事務局	<p>市の今現在の青パトの現状についてですが、市の職員でパトロールで使用しているのと、警察の許可をいただいて富里市防犯指導員連合会の方に車両登録を行った上で貸し出しをしてパトロールを行っていただいています。</p> <p>また、南七栄の地域防犯情報センターにおいても、青パトを一台貸し出してパトロールをしていただいています。</p>
議長	<p>今後青色回転灯車両を使い、パトロールしたいと希望している団体は自分たちの車を出して行うようになるのですか。</p>
事務局	<p>市の青パト保有状況を鑑みても皆様のニーズにこたえるという点ではどうしても足りなくなってしまうので、担当としては増やしたいと考えてはいますが、現状今3台しかないといったところで、皆様に青色回転車両を所有してもらいたいと考えています。</p> <p>また、物資という形で、装着するための青色回転灯を提供するといった支援を市としても考えています。</p>
議長	<p>他に意見、質問がありますか。</p>
B委員	<p>実際に青色回転灯車両による防犯パトロールはとても効果があります。南部の地域は範囲がとても広いため、より多く防犯パトロー</p>

	<p>ルを行ってもらおう意味でも自主防犯パトロール隊に青色回転灯を使ってもらえるような体制を，少しでも早く築いてもらい，また条件の緩和をするだけの価値もあると思います。</p>
議長	<p>委嘱する条件の中に活動年数ではなく「週 1 回以上の活動」と書かれています，これは対象が広がってより委嘱を受けやすくなっていると思います。</p>
C 委員	<p>普段の防犯パトロールに加えて不審者情報が入れば，防犯パトロール回数を増やすなどしています。また，皆さんが青パトを利用しやすくなるようなシステムができるようになれば，利用する人が増えるので，その辺よろしくお願ひしたいです。また，防犯指導員は基本二年交代するので，もし防犯指導員の私有車を青パトとするなら交代した時にどうするかといった問題があると思います。</p>
議長	<p>各防犯団体の中で打合せやルール作りみたいなものが今後必要になってくるのではないかなと思います。</p> <p>他に意見，質問がありますか。</p>
D 委員	<p>現在，私有車の装備についてはすべて地域の負担のような形なのですか。</p>
A 委員	<p>今，私有車を 4 台登録していますが，経費の関係でどれもマイクは装備していません。しかし，今後何らかの支援があれば装備していきたいと考えています。</p>
D 委員	<p>私有車でパトロールをしているのは酷なことであると思います。市で青パト車を増車して貸し出すべきであると進言しながらも，すぐにはできないのはわかっています。代替案として市の公用車を使わない夜の時間帯に貸し出しを行うのはいかがでしょうか。そうすれば，市の車なら保険が掛かっているので，青パト車両登録さえすれば使用も可能なのではないかと考えます。やはり，できるだけ市の</p>

	<p>車を使っていき、個人の負担を減らしていくべきであると思います。</p>
議長	<p>市の公用車を夜だけ青色回転灯を装着して使用することは可能なのですか。</p>
事務局	<p>新たな発想として内部で検討しようと思いますが、ただ保険の方は市民の方と職員と違ってしまうので、難しいかもしれません。そのことも含め今後の研究課題とさせていただきます。</p>
議長	<p>他に意見、質問がありますか。</p>
A 委員	<p>できたら各小学校区に 1 台与えてほしいです。7 小学校区 4 支部合計 11 台分を早く整備していただきたい。また、わざわざ市役所へ行かなくても何かあったらすぐ自分の家から出ていけるという点が、私有車を青パト車にするメリットです。しかし、青パト登録に掛かる手数料は、自分もしくは自治会の負担となっているということを知っておいていただきたいと思います。また、市の増車に関して一つの案ですが、例えば自動車会社に掛け合って、自動車会社にある塗装し直せば使えるという中古車を使わせていただき、そのかわりどこから寄贈されたかを明記すれば喜んで出してくれると思います。</p>
議長	<p>他に意見、質問がありますか。</p>
E 委員	<p>資料 3 第 3 条にある「申出書」は、年齢や生年月日は書かないのですか。</p> <p>高齢者の運転は危険な面があると思うのですが。</p>
事務局	<p>市の手続きを終えても警察本部の審査があるので、そのときにある程度名簿の中にはどういう構成員がいるとか、どういう年齢の方がいるとかといった形で記載させていただきたいと考えております。</p>

	<p>また、警察とお話しした際に伺ったことですが、例えば団体の構成員がご高齢の方ばかりであると継続性がないと判断されてしまい、一方若い方が構成員の中にいれば継続性があると判断されるようです。今後この継続性といった部分に関しては警察署と相談しながらやっていきたいと考えているので、何かご意見あれば、またそれを参考にさせていただきたいと考えております。</p> <p>また、警察による青パトの講習を受けて発行される青パト実施者証を持っている方がいれば、青色回転灯を回すことができます。例えば、免許を持っていなくても、もちろん運転はできませんが、その方が青パト実施者証を持っているれば、青色回転灯を回すことができます。</p>
議長	<p>資料 3, 4 の要綱の素案について異議がなければ挙手を求めます。 (全員挙手)</p> <p>(3) 富里市内の犯罪発生状況等について F 委員より説明。 F 委員説明後、資料 7 をもとに事務局説明。</p> <p>(4) 推進重点地区について 資料 5 により他市における推進重点地区の指定状況について事務局説明。</p>
議長	何か意見、質問がありますか。
E 委員	万引きが多いということですが、青少年と高齢者ではどちらの方が傾向としては多いのでしょうか。
F 委員	手元に資料がないため何とも言えないが、確かに高齢者の万引きも目立ってきてはいます。
D 委員	近くの方が犯罪を起こしているのですか。

F 委員	正確にはわかりませんが、万引きといった犯罪となると近くに住んでいる方が多いです。
議長	他に意見，質問がありますか。
A 委員	出来れば年度内に自主防犯団体の希望を取りまとめるくらいの工程を組んでほしいです。
議長	次回の会議はいつ頃を予定していますか。
事務局	次回は1月下旬か，2月中旬辺りで会長とも話し合いながら決定いたします。
	次第4 その他
議長	皆さんから1人1分くらいで，それぞれの立場から持っている富里市内の犯罪を減らそうという考えを聞かせてもらえますか。
B 委員	富里市に住んでいる人が全員同じ目線で動けるような仕組みにしてほしいです。
G 委員	弱者のための護身術を行っており，お年寄りの健康促進にも力を入れています。犯罪を行おうとする者が青色灯を見ると穏やかな気持ちになるそうです。あるところによると青色の防犯灯を設置したことによって犯罪が極端に減少したという事例もあります。他には，子ども110番の看板が古くなっているのので，整備する必要があるのではないのでしょうか。
H 委員	P T Aを通して防犯活動をしているところもあれば，していないところもあります。活動をして守る側においても事故があつたらいけないということで，しっかりやっていきたいと思います。

I 委員	区長さんから防犯灯の申請がなければ防犯灯を設置しないではなく，市から積極的に動くほうがよいのではないですか。
A 委員	自分の体，組織に見合った無理ない活動を目指して，できるだけ若い人たちを参加させるということを，皆で考えていければと思います。
C 委員	支部ごとに地域性が強く様々なパトロールをしていますが，なかでも学校単位だと10人くらいと非常に少ないです。学校単位でパトロールをしようとしても皆さん仕事もしている方もいるため，現状難しいです。ぜひ地域で加入の呼びかけをしていただきたいです。
F 委員	この情報をいかに地域の人に発信していくかが課題の一つではないでしょうか。また，青パトの増車に関してですが，運行記録のようなものを作り，何回要請して断られたかというのも記録しておけばこれだけ必要であるとわかり，増車につながっていくのではないかと思います。
J 委員	子供達の安全面を考えると交通安全や不審者のことについてが，一番懸念しているところでもありますので，できる限り協力させていただきます。
D 委員	日本語の理解できない外国人の方のお手伝いができたらと思います。また，近くにそういう外国人の方がいたら国際交流協会を利用するように伝えてください。
E 委員	小さい子からお年寄りまで近所の方に呼びかけをしていくことが，犯罪の抑止力になると考えています。また，認知症の方を極力減らそうと常に民生委員では笑顔でいることを心掛けており，歳末には消費者生活センターからの詐欺に遭わないための啓発チラシを配布しています。

K委員	<p>高齢者の方が詐欺に遭わないように個人でも防犯カメラを設置することが良いと思いますが、設置するのは大変だと思うので、今後補助金を出すといった方法があればいいと思います。</p> <p>-----閉会-----</p>
-----	--